

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022年12月8日

2022年11月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は335.5億円と、前年同月比で36.2%増となった。プレス系・板金系ともに輸出が伸びており、6月以来4カ月ぶりの300億円越えとなった。そうした中で、板金系の国内は5カ月連続のマイナスとなっており、部品不足による長納期化、円安・ウクライナ侵略等といった影響を受けているものと考えられる。
- 機種別 プレス系機械は151.3億円と、前年同月比で94.0%増となった。中型・大型プレスが約2倍、超大型も104倍、小型プレス3.0%増、油圧プレス27.1%増、フォーミング38.5%増であった。板金系機械は114.6億円と、前年同月比12.5%増であった。パンチングのみ77.9%増であり、レーザプラスマが6.4%減、プレスブレーキも11.9%減であった。
- 内外別 国内は111.3億円、前年同月比2.0%増であり、鉄鋼54.5%増、金属2.4%増、自動車22.9%増であったが、一般機械、電気はマイナスであった。(機種計) 輸出は154.6億円、前年同月比2.2倍であった。中国向3.4倍、北米向2.2倍、インド向15.6倍、欧州向17.2%増、韓国・台湾向70.0%増で、東南アジア向のみマイナスとなった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



